

# 在職者訓練の取り組み状況と今後の課題

ポリテクセンター福島 佐々木 隆夫  
 (福島職業能力開発促進センター)

## 1. はじめに

「企業は人なり，人は教育によって人材となる」という言葉があります。

今日の厳しい大競争時代の中，企業は少ない人員での経営を強いられています。それだけに企業にとっては，戦力となる優秀な人材を確保するとともに，社員個々人の能力アップの社員教育が重要な課題となっています。

しかし，福島県産業振興センター（県の外郭団体）の調べによると，従業員教育を定期的に行っている企業は，約2割にとどまっているとのことであり，特に，中小企業では研修・教育の必要性はわかりながら，時間的・資金的などの理由から取り組めない，二の次になってしまっているのが現状であります。

このような地域状況の中で，ポリテクセンター福島の事業主団体方式による平成11年度の能力開発セ

ミナーの実施状況と体系的セミナーの拡大に向けての取り組みを報告いたします。

## 2. 能力開発セミナー実施状況

平成11年度は，機械系・電気電子系・情報通信系・居住系・ビジネス系の職務分野で能開セミナーを実施しました。ここ3年間におけるコース・受講者数の推移，また各職務分野ごとのコース・受講者数割合を図1～4で示します（平成12年2月20日現在で集計）。

平成11年度は，緊急雇用対策によるアビリティ訓練2部制の実施やセミナー担当者の人事異動などにより，セミナーのコース数は前年度より減少していますが，セミナー受講者数は若干ですが増加しております。なお，1コース当たりの受講者数は機械系で約7人，情報通信系で約13人となっております。

また，事業主団体方式によるセミナーとして，年度当初に，地域ニーズに基づいて設定した「レディ

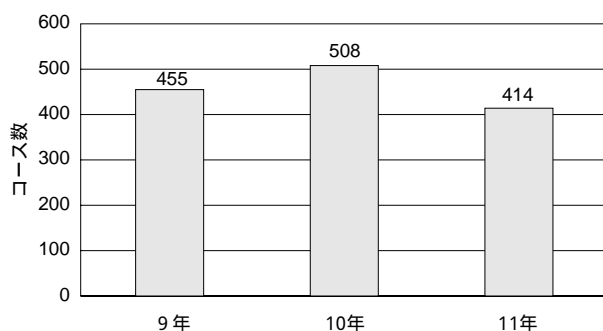


図1 実施コース数の推移

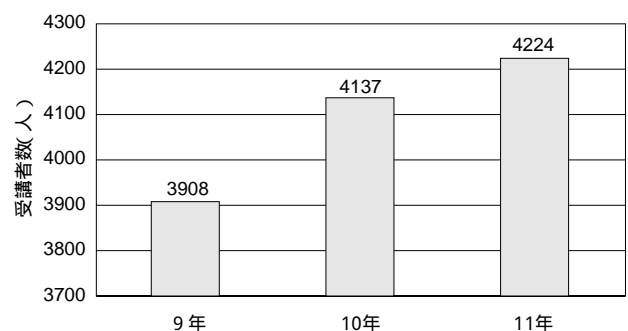


図2 受講者数の推移

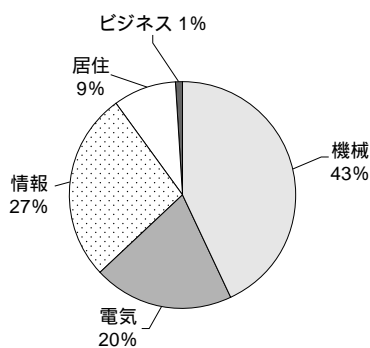


図3 系別コース数割合

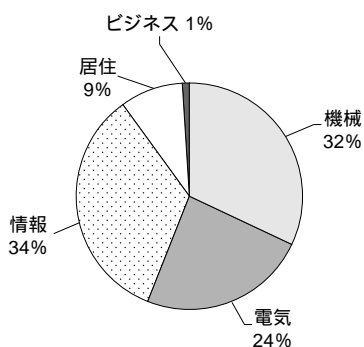


図4 受講者数割合(延べ人時間で集計)

メイドのセミナー」と各団体，傘下事業主の要望に基づいて相談し企画した「オーダメイドのセミナー」を実施しております。

平成11年度のオーダメイドセミナーのコース数割合は59%，延べ人・時間集計では69%となっております(図5)。

### 3. 開発援助課のグループ制の取り組み

事業主団体方式によるセミナーを展開するにあたり，平成9年度より2つのグループ制を導入して業務を展開しております。

1つは人材高度化支援グループであり，もう1つは事業主団体支援グループであります。

セミナー担当講師(平成11年度9名)はセミナー実施者であるとともに，全員，企画員として，2つのグループのいずれかに所属し，業務を実施しております。

個人の裁量で業務を展開するのではなく，科・系の枠を超えた横断的なグループ編成のもと，情報の共

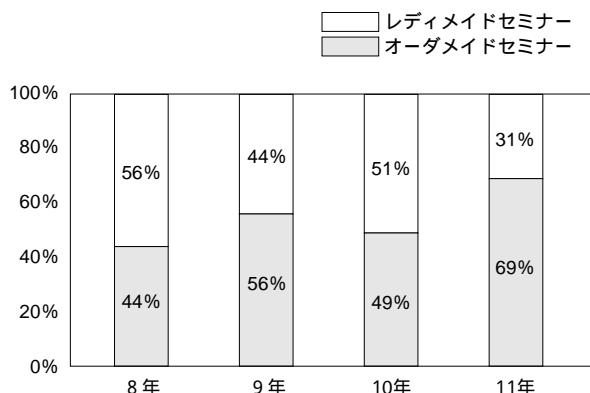


図5 オーダメイドセミナーコース割合(延べ人時間計算)

有，手段・手法の統一化を図り，相互に補完しながら総合的に能開事業に取り組むことをめざしたものです。

なお，2つのグループの業務内容は以下のとおりであります。

#### 3.1 人材高度化支援グループ

人材高度化団体(6団体)の人材育成の企画・立案の窓口を担当する。

#### 3.2 事業主団体支援グループ

事業主団体(35団体)の能開セミナーの企画・広報・募集の業務を担当する。

自己啓発支援プログラムを効率よく効果的に作成できるシステムを構築する。

セミナー担当者は，全員で企画業務を行い，生涯職業能力開発体系図をもとに，グループによる「提案型・体系的なセミナー」を企画する。

### 4. レディメイドのセミナーの広報・募集

#### 4.1 研修コースガイドと各コース別広報物の発行

研修コースガイドは年2回(2・8月)に発行・配布しております。半期単位でセミナーコースを見直ししながら，ニーズに基づいた研修コースガイドを集中的に事業主団体・傘下企業に広報し，募集を行っております。

また，1冊のコースガイドの他に，随時セミナー

コースのリーフレットを系別に作成し、事業主等にセミナー案内として広報を行っております(図6)

#### 4.2 広報誌への掲載

当センターおよび福島センターの実施しているセミナーは、「産業振興センター」「商工会議所」「市役所」が発行している月刊広報誌上に毎月掲載しております。また、各団体の季刊誌に随時、セミナーを掲載しております。

#### 5. 事業推進協力会総会の取り組み

毎年、人材高度化の認定団体と各事業主団体を対象に「事業推進協力会総会」を行ってきております。雇用・能力開発機構および当センターの業務をPRする場として、また事業主団体・企業における人材教育・能力開発の意義・必要性を高めるための絶好の機会と位置づけし、取り組んでおります。

今年度は雇用・能力開発機構福島センターと連携

能力開発セミナーのご案内

工場設備は  
見えてますか?

維持保全シリーズ  
**設備診断技術**

1. コース名 維持保全(設備診断技術)

2. 日 時 平成12年2月23日~24日(水、木) 2日間  
9:20~15:40

3. 講習会場 福島職業能力開発促進センター(ポリテクセンター福島)  
4号講義棟実習場指定室

4. 受講料 5. 000円

6. 定 員 12名

7. 使用機器 回転ロータリーキット、ミスアライメント測定機、  
自動計、アナライザー、回転計、他

維持保全業務に従事、またはこれから従事しようとする方、  
および設備診断に興味のある方を対象に、回転機械設備診断の概  
要、回転機械シミュレータによる故障と各種計測機器の使用法、  
経験に基づいた設備診断の基本的知識と測定技術を習得します。

お申し込み・お問い合わせは下記まで

**雇用・能力開発機構**  
福島職業能力開発促進センター  
(ポリテクセンター福島)  
〒960-8054 福島市三河北町7-14  
TEL 024-534-3637  
FAX 024-534-3638  
E-mail: 開発補助課 西原・佐々木

図6 セミナー案内リーフレット一例

(様式3)

レベル表示		専 門 基 礎	専 門	専 門	先 端
製造	切削加工	旋盤基礎 旋盤加工作業 各種基本切削法 NC旋盤基礎 NC旋盤加工作業 NCプログラミング フライス盤基礎 フライス盤の切削法 各種切削法・溝加工等 マシニングセンタ基礎 マシニングセンタ加工作業 マシニングプログラミング	旋盤応用 テーパー・偏心削り 一般鋼以外の加工 NC旋盤応用 NC最良プログラミング法 異形状部品等のNC加工 フライス盤応用 各種応用切削 フライス盤最適工具使用法 マシニングセンタ応用 工具径補正使用法 自動プログラミング応用	新工具切削加工技術 CBN工具による加工法 ダイヤモンド工具による加工 NC工作機械技術の展開 ターニングセンタ複合加工 評価カスタムマクロ応用 難削材切削加工技術 難削材加工法 難削材用工具の選択法	新素材対応技術 新素材用工具の選択法 新素材加工動向

ポリテク福島で実施しているセミナー(様式4)

切削に関する知識1・2	刃物研削	
旋盤基礎(1)(2)(3)	旋盤応用(1)(2)	
フライス盤基礎(1)(2)(3)	フライス盤応用(1)(2)	
NC旋盤プログラミング・加工	NC旋盤加工・応用技術	エンドミル加工技術
マシニングセンタプログラミング・加工	マシニングセンタ加工技術コース	カスタムマクロ(1)(2)
平面研削盤作業	総合機械加工技術基礎	総合機械加工技術・総合

図7 機械部品製造業における職務別構成要素(汎用工作機械作業)

しながら、「講演会」を中心に、雇用創出・助成制度の活用、能力開発体系図をもとにしたオーダメイドセミナー構築の仕方について、各系ごとの説明も含めて、2回（6・2月）実施しました。

6月30日開催（約60名参加）

「テーマ 伸びる企業の人材管理の進め方」  
（サブテーマ 組織の中の人間とは）

（株）岩瀬書店特別顧問 和田豊治 氏

2月24日開催（約200名参加）

「テーマ 大競争時代を勝ち抜くために」  
（サブテーマ 松下幸之助に学ぶ人材育成から）

ポリテクセンター関西 山口逸男 氏

## 6. オーダメイドのセミナーの広報・募集

### 系別コース体系図とモデルコース案内

生涯職業能力開発体系図に基づいた体系的なセミナーを拡大するためには、団体事務局あるいは団体傘下企業への定期的な訪問は欠かすことができない

取り組みであります。

グループ制の業務展開として、各事業主団体（35団体）ごとに2～3名のセミナー担当講師を担当窓口として配置し、月1回を目標に定期的な訪問を実施しております。

体系的セミナー、オーダメイドセミナーの構築に活用することを目標に、系別コース体系図（図7）とモデルコース案内を作成しております（図8）。

訪問時には系別コース体系図とモデルコース案内を紹介し、独自の社員教育・能力開発セミナー計画案作成を勧めております。

系別コース体系図は、生涯職業能力開発体系図をもとに技能技術の分野だけを抽出し体系化したものであり、また、当施設で実施可能なコースと比較一覧できるようになっております。

モデルコース案内は、当施設で実施可能なコースごとの目標、内容、日数、受講料など、コース概要を表したものです。

コース名	対象	内 容	日 数	受講料
総合機械加工技術 基礎編	機械加工業務に従事、これから従事する方	機械加工技術者として各種工作機械を使って、部品加工・組立に必要な専門知識と技能・技術および安全作業法を習得します。 （各種汎用機械の工作法を理解する）	10日 （60H）	20,000円
総合機械加工技術 総合編	機械加工業務に従事している方	機械加工技術者として部品加工・組立に必要な専門知識と技能・技術および特殊な形状と高精度な寸法を持つ課題から加工手順および工程分析の考え方を学びます。また、各種工作機械を使って課題製作に必要な段取りと切削加工の知識を習得し、さらに課題の精度検査および性能評価の方法も合わせて習得します。	5日 （30H）	10,500円
切削に関する知識 (a)	機械加工業務に従事している方	仕上げ面粗度に大きく左右する各要素を、一部実験的手法により知識の裏づけを確かめるものとなるような知識と技能を習得します。	2日 （12H）	5,000円
切削に関する知識 (b)		切削加工における仕上げ寸法公差および幾何公差管理に左右する各要素と、刃物の材質・形状等を一部実験的手法により知識と技能を習得します。	2日 （12H）	5,000円
NC旋盤 プログラミング	NC旋盤作業に携わっている方・これから携わる方	NC旋盤作業の技術者として、部品加工に必要なプログラムの作成方法を中心に機械操作および安全作業法を習得します。	2日 （12H）	5,000円
NC旋盤 加工作業		NC旋盤作業の技術者として、部品加工に必要なプログラムの確認と段取り作業、機械操作、入力、試運転、加工作業、測定および安全作業法を習得します。	2日 （12H）	5,000円
NC旋盤 加工応用技術	NC旋盤作業に携わっている方	NC旋盤作業の技術者として、有効なプログラムの作成と加工に関する専門知識および安全作業法を習得します。図面から製品加工までの技術を習得します。	4日 （24H）	7,500円
マシニングセンタ プログラミング	マシニングセンタ業務に携わっている方・これから携わる方	マシニングセンタ作業の技術者として、部品加工に必要なプログラムの作成方法を中心に機械操作および安全作業法を習得します。	2日 （12H）	5,000円
マシニングセンタ 加工作業		マシニングセンタ作業の技術者として、部品加工に必要なプログラムの確認と段取り作業、機械操作、入力、試運転、加工作業、測定および安全作業法を習得します。	2日 （12H）	5,000円

図8 汎用工作機械（切削加工）のセミナーコースモデル

## 7. 相談・企画書・実施

事業主団体・企業に対し「能力開発セミナー等相談シート」を配布し、FAXによる相談援助・情報提供の要望を受け付けております。オーダメイドセミナーの要望の多くは、即実践できる技能の習得、即効性のある単発のセミナーであります。

実施に向けての企画書の作成の際には、関連するセミナーを体系図として提示しております。

また、実施時間帯、実施場所は可能な限り事業主の要望を受けるようにしております。

さらに、今年度は37コースを施設外に出向いてセミナーとして実施しております。

## 8. 今後の取り組み課題

事業主団体・事業主への定期的訪問の徹底とグループでのバックアップ体制の強化を図る。

セミナー受講申し込み企業が県全体に拡大してきているが、都市型施設として、福島市周辺のみならず県央、県南、相双地区への新たな団体の拡大とセミナーの展開を図る。

情報革命と言われる昨今、どの企業も緊急かつ共通の人材教育として、パソコン・インターネットの研修を希望している。情報関連の段階的・体系的なセミナーを提示し、また各専門分野との連携を考慮した企画書の立案、セミナーの実施を進める。

中止となったコースの受講希望者には関連するオーダメイドセミナーが企画されたときに案内を出す。また、多くの受講者を出せない企業の現状に対して、複数企業からの相談の中で共通するセミナー依頼については新規に立ち上げ、募集する体制をとる。

事業主や人材教育担当者に対して、能力開発の重要性を啓蒙する場を多く開催する。

相談援助に活用している系別コース体系図、モデルコース案内、相談シートを随時見直し、充実する。

## 9. おわりに

当ポリテクセンター福島は、福島駅を降り、徒歩5分に位置し、非常に利用しやすい場所にあります。

セミナーの高度化に向けた機器の整備も徐々に進み、担当講師はその実施体制を整えてきております。

しかし、何もせずに能開セミナーに受講者が集まってくるほど大都市でなく、また企業の数も多くありません。

したがって、企業経営の中での人材教育についての啓蒙と企業ニーズ・ウォンツに合致した相談・企画・援助のサービス業務が第一に必要なようになってきております。

日本企業の停滞の大きな原因は、「技能の空洞化」にあると言われます。企業経営の中で、教育訓練は重要と認めるが、あくまでも補助であり、脇役でありました。それが原因ともも言われています。

また、教育訓練に即効性や具体性を期待するのは誤りであり、景気・不景気に関係なく地道に行うものであるとも言われています。まさに教育は投資であり、企業経営の土台を固める戦略であります。

当施設の開発援助課のグループ制もいくつかの問題を抱えてはいるものの、担当講師全員がセミナー実施者であるだけでなく、市場のニーズ・ウォンツを見ながら相談援助・企画業務を実施しております。

厳しい経営状況の中、新機構の雇用・能力開発業務が地域のニーズ、労働者のキャリア形成に対応でき、かつ地域から今まで以上に貢献でき、期待される施設となるよう取り組んでいきたいと思っております。

